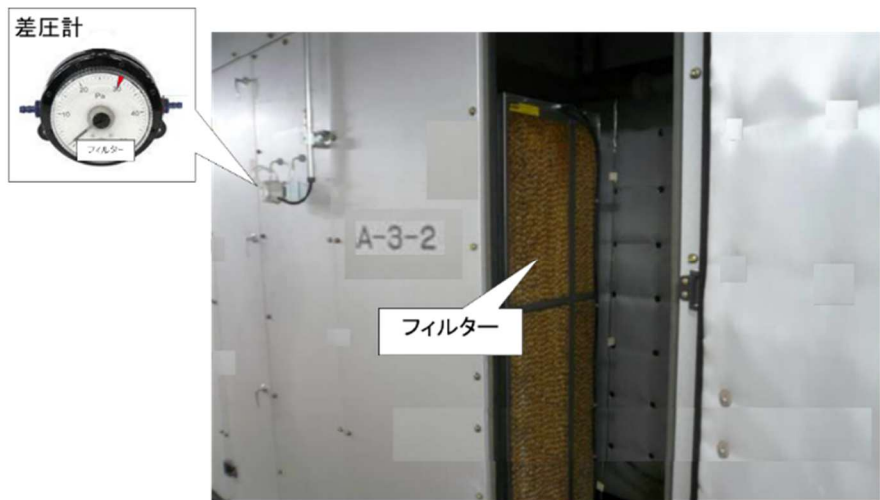


3 空気調和設備・換気設備

番号	対策の名称
③	空調機器の保全管理
内容	冷暖房効率の低下や、搬送（ファン・ブロワ）動力の増加要因となる、空調機器、換気設備のフィルターの目詰まりを解消するため、定期的に清掃・交換し、性能を維持します。 <例：エアハンドリングユニットの差圧計> 
効果	<フィルター清掃を年2回実施した場合のシミュレーション(下記条件に基づいた場合の試算例)> 天井埋め込み型ファンコイルユニットのフィルター清掃を年2回実施する。 ・燃料費削減効果 年間 43,200 円 ・CO2 排出削減効果 年間 1,080kg-CO2 (試算条件) ・空調使用時間は年間 6,000 時間、ファンコイルユニット 15 台。定格消費電力 120W/台 ・フィルター清掃による省エネ効果は 20%と想定 120W/台×6,000h/年×15 台×0.2=2,160kWh/年 ・燃料費削減効果：エネルギー単価を電力 20 円/kWh として 2,160×20=43,200 円/年 ・CO2 排出削減効果：CO2 排出係数を電力 0.5kg-CO2/kWh として 2,160×0.5=1,080kg-CO2/年
ポイント	・空調機器、換気設備のフィルターの清掃・交換記録により、適正な管理を行いましょう。 ・空調機器や換気設備によっては、差圧計を設置してフィルター前とフィルター後の差圧を管理し、一定以上の差圧になった場合にフィルターを清掃あるいは交換することもできます。